

第37号
2015年6月1日

○発行
鳥取市立川町5丁目417番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857) 22-4206
http://www.tottorikodomogakuen.or.jp/
○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎佛之助

鳥取こども学園 学園だより



希望館開設二十周年 生活棟改築事業竣工 応援ありがとうございました。

鳥取こども学園 希望館 館長 西井啓二

昨年、鳥取こども学園希望館は二十周年を迎える事ができました。同じ年にスタートした「生活棟改築事業」が本年、五月末に完成しました。

たくさんの方々の皆さまのお力添えをいただき、この日を迎えることができましたことに厚く感謝を申し上げます。

「失われた機能を回復する」という意味の「ハブリケーション」という言葉を耳にします。希望館の子ども達は、様々な課題があっても決して、壊れた子どもではありません。療育的対応よりも「育ち」を支えるハブリケーションが、心ざわしいと考えます。希望館にたどり着くまで獲得できなかった環境を提供すること、そしてそれぞれの子もたちが個性と主体性を発見して、自分の人生を生きていくための「育ち」を支援すること。これが希望館が一貫して取り組んで来た「生活型情報」だと信じています。

《工事経過》

二〇一三年	八月	公募型プロポーザル方式にて設計者選定
二〇一四年	六月	着工
二〇一四年	十二月	部分引き渡し
二〇一四年	十二月	ホーム児童引越
二〇一五年	五月	工事完了
二〇一五年	六月	さつきホーム運営
《改築資金》		
補助金等	合計	二六〇、九四〇千円
鳥取県補助金		一六一、二八〇千円
鳥取市補助金		二六、八八〇千円

借入福祉医療機構	五〇、〇〇〇千円
自己資金	二二、七八〇千円
工事資金	二六〇、九四〇千円
施設整備(工事)	二四一、九二〇千円
設計費	一〇、二九〇千円
工事監理費	四、四一〇千円
初年度備品費	四、三三〇千円
改築工事業者	
設計・監理	(株) 山下設計工房
建設工事	株式会社 藤原組

旧生活棟には、様々な思い出が詰まっていた。いつも、いつまでもそこにたたく子ども達を育んできました。それでも老朽化が進み新しい生活棟が必要となりました。この度の改築は、培ってきた二十年間を形にしようとして二〇一一年にプロジェクトをスタートしています。二年間の助走は、子ども達と職員の見聞を基に夢と希望を実現するチャンネルでした。実現までの道のりは、迷うことばかりでしたが、公開プロポーザル方式で熱意のある設計者を選ぶことが出来たことは幸いでした。

着工から順調に工事が進み、年末には、生活棟の引越、本年六月には、すべての工事が完了する運びとなりました。開設当時から三十人(入所)の定員は変わりませんが、「こぼと」、「わかば」、「のぎく」、「しらゆり」に「さつき」が加わり五ホームでの運営が始まります。子ども達と共に歩んだ希望館二十年間の営みは、一貫して「生活型情報」、「小舎ブロック体制」にあり

ました。この度の改築は、今後の新設、改築の全国の情報施設モデルケースとなり、この度の三十人、五ホーム体制が更に「生活型」を問われることと予想しています。この度の改築竣工と開設二十周年を迎えることは、「自分も他人も大切に。」という法人理念の実現のひとつのステップを歩んだのだと信じています。法人を代表することを名誉として応援してください。皆さまに御礼を申し上げます。ありがとうございました。引き続き、更なる応援をお願いして、改築事業の竣工と二十周年の御報告とします。



法人本部

常務理事 藤野興一 記

第二次五ヶ年計画の初年度に当たり、法人財政立て直しと更なる飛躍のために

① 二〇一五年度から二〇二〇年度までの五年間は鳥取こども学園第二次五ヶ年計画の期間に当たり、国が各都道府県と進めている社会的養護小規模化推進計画の最初の五年の期間に当たります。そして二〇一五年はその初年度です。

② この間、「社会的養護の課題と将来像」実現に向けて猛運動がなされ、その結果、三十年以上も変わってこなかった職員配置の大幅な増員が二〇一五年度から予算措置され、制度改革への歴史的前進が図られました。鳥取こども学園の事業展開は、その牽引的役割を担ってきたという自負を持っています。

③ しかし、財政的には、次々に建て替えを迫られた施設整備事業、やればやるほど赤字になる「児童家庭支援センター事業」、開設以来大幅な赤字を抱えることとなった「はまむら作業所」での障がい福祉サービス事業、大規模な立て替え運転資金を要する「地域若

者サポートステーション事業」等、法人本部は「火の車」となっています。

④ 現在、希望館の生活棟建て替えと本部財政強化のための五千万円募金を行っています。皆様の心のこもったご寄付が二千三百万円集まっています。心より感謝申し上げます。目標まであと二千七百万円不足しています。引き続きよろしくお願い申し上げます。

⑤ お陰様で、情短施設希望館は、六月一日十時から「竣工式」並びに「創立二十周年記念式典（川口孝一診療所長の記念講演を予定）」を挙行します。建物は一通り整備されました。これからは今後の鳥取こども学園の事業を担う職員の育成が課題となると考えています。今後とも応援よろしく願います。

⑥ しかし、子どもの貧困やDV・児童虐待など子どもを取り巻く状況は悪化の一途をたどっています。私たちの施設に繋がっている子どもはまだまだしで、川崎の中一殺人事件や佐世保の高校生殺人事件など地域の公的、あるいは民間のセーフティーネットが機能しなくて放置されている子どもたちが巷に多くいるのが実情です。

⑦ 更なるご支援をお願いしたい。

法人本部 決算書

収入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減△額
その他の事業収入	120,000	80,074	△ 39,926
借入金利息補助金収入	16,000	15,500	△ 500
経常経費寄附金収入	20,800,000	22,655,042	1,855,042
受取利息配当金収入	1,000	1,960	960
その他の収入	1,646,000	2,090,612	444,612
積立資産取崩収入	2,251,000	2,250,900	△ 100
拠点区分間繰入金収入	1,945,000	1,945,000	0
前期末支払資金残高	975,000	29,565,006	28,590,006
合 計	27,754,000	58,604,094	30,850,094

支出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減△額
人件費支出	1,057,000	1,069,200	12,200
事業費支出	1,076,000	1,125,824	49,824
事務費支出	6,591,000	6,672,913	81,913
支払利息支出	62,000	62,000	0
その他の支出	0	74,579	74,579
設備資金借入金元金償還支出	1,000,000	1,000,000	0
拠点区分間繰入金支出	17,968,000	17,704,064	△ 263,936
合 計	27,754,000	27,708,580	△ 45,420

収入支出差引残金 ￥30,895,514 -は次年度繰越

児童養護施設「鳥取こども学園」決算書

収入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減△額
児童福祉事業収入	267,970,000	267,633,015	△ 336,985
借入金利息補助金収入	21,000	21,248	248
経常経費寄附金収入	401,000	401,000	0
受取利息配当金収入	3,000	4,193	1,193
その他の収入	3,214,000	3,219,177	5,177
施設整備等補助金収入	879,000	879,200	200
前期末支払資金残高	0	25,970,903	25,970,903
合 計	272,488,000	298,128,736	25,640,736

支出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減△額
人件費支出	204,838,000	204,586,004	△ 251,996
事業費支出	47,598,000	48,315,331	717,331
事務費支出	9,796,000	10,207,491	411,491
支払利息支出	426,000	425,091	△ 909
その他の支出	3,100,000	3,109,353	9,353
設備資金借入金元金償還支出	4,088,000	4,088,000	0
固定資産取得支出	501,000	500,148	△ 852
積立資産支出	309,000	308,646	△ 354
拠点区分間繰入金支出	1,146,000	1,146,000	0
合 計	271,802,000	272,686,064	884,064

収入支出差引残金 ￥25,442,672 -は次年度繰越

児童養護施設 鳥取こども学園

児童養護施設鳥取こども学園は、近年、年度当初に定員を満たし、要保護児童の受け皿となり得ていない状況にあることから、本年四月一日鳥取市桂木に地域小規模児童養護施設三箇所目「かつらぎの家」を開設しました。これにより定員が本園四十名、地域小規模児童養護施設三箇所×六名＝十八名の計五十八名となりました。

法人の基本理念「愛」を基軸に子ども一人ひとりを尊重し、生活を大切にすることで家庭的養護をさらに推進してまいります。



地域小規模児童養護施設 かつらぎの家

職員自己紹介

◆ひまわりホーム



児童指導員

妹尾 美希

まだ分からないことも多いですが、笑顔を忘れず一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

◆たんぼぼ・さくらホーム



保育士

太田 愛理沙

フリーの職員ということで、覚えることが多くたくさんさんの不安はありますが、ホームの職員の方にご指導頂きながら前向きに頑張っていると思います。子ども達と笑顔で元気に過ごしていると思っています。よろしくお願いします。

◆こすもすホーム



保育士

田中 菜桜

今年度より、こすもすホームでお世話になっていきます。分からないことも多く、至らない点が多々あるかと思いますが職員の方や子どもたちと関わる中で成長していきたいと思っています。よろしくお願ひします。

◆こどもの家 あかり



保育士

南 加奈子

まだまだ不安な部分は沢山ありますが、私らしく、子ども一人ひとりと関わり、少しずつ慣れていきたいです。

◆すみれホーム



保育士

宮口 翔平

今年度からすみれホームで働かせていただくことになりました。私は、身体を動かすことが好きなので、思いっきり遊ぶ中で、子どもと身体を出来るだけ開放させていきたいと思っています。どんな時でも、全力で頑張りますのでよろしくお願ひします。

◆すみれホーム



保育士

田中 貴久

今年度の四月からすみれホームでお世話になっていきます。子ども達と共に生活をしていく中で、自分自身も共に成長できたらなと思っています。頑張ります！

◆なかよし園



保育士

平井 恵子

毎日、子ども達が笑顔で元気に過ごせる『なかよし園』であるよう、見守っていききたいと思います。

◆かつらぎの家



支援員

湊 靖子

この四月からかつらぎの家で食事補助として、お世話になっていきます。子どもたち・職員の方々が楽しみにしていただけのような料理と、いこちの良さを提供できるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

乳 児 院 鳥取二ども学園乳児部

院長 田中佳代子

昨年度は、早期に定員一杯の状況となり、新たな受け入れが難しくなりまして。少しでも早くお家で過ごせるよう家庭復帰に尽力した結果、年間四名が家庭復帰しました。里親委託一名・児童養護施設への措置変更二名もありました。平成二十七年度は十二名でスタートしています。

昨年度はシヨートや一時保護も多く、従来通り各ホームで受け入れ対応していましたが、入所児の動揺も大きく苦慮していました。今年度、配置基準の変更で職員を一名増員できたこともあり、新たな取り組みとして乳児院内に一時保護部門を設けました。体制を検討しているうちに預かりの依頼は待たなして入り、見切り発車のところはありましたが、職員の献身性に支えられて体制を整えつつあります。また、今年度より、日勤職員が、同年齢児を集めて一日一時間程度遊びの時(わくわくタイム)を持つ試みを始めたところ、子どもたちは生活のメリハリを感じ喜んでいきます。笑い声は職員

の方が大きく、一緒に楽しんでいて活気が渦巻いています。新しい職員も迎え、新たな気持ちで乳児部が丸となって親子の成長を支援していきたいと思っております。ご理解ご支援よろしくお願ひします。

職員自己紹介

◆かりんホーム



保育士
竹森 愛里

四月よりかりんホームでお世話になっていきます。竹森愛里です。慣れないことばかりですがみなさんに支えられながら毎日学ばせていただいています。まだまだ未熟ではありますが、笑顔と明るさを活かしてがんばります。よろしくお願ひします。

◆くるみホーム



保育士
亀谷 滯

乳児部くるみホーム亀谷滯です。頑張っています。苦しい生活かして

学園でのイベントや行事に積極的に参加していきたいです。又、そこで普段なかなか関わりを持つことができない職員の方々と関わっていただけたいなと思ひます。よろしくお願ひします。



看護師
小谷 優子

昨年の十月より乳児部でお世話になっていきます。私は約五年前に二年間勤務させて頂いていました。当時のこともたちは小学生になっており五年分の成長に驚きと再会できた喜びを感じる反面、何もできなかった期間に後悔も感じています。これからは多くの子の成長を見守り機会あれば寄り添い支援していきたいです。



保育士
西山 美和子

はじめまして。西山です。ふとした事から縁あって乳児部に勤めることになりました。純粋な子どもの瞳に吸い込まれるように、私の心も動きまます。今ここにいない人の分まで愛情を注ぎ、努めてまいります。よろしくお願ひ致します。



支援員
村上 太樹

昨年九月から乳児部で支援員としてお世話になっていきます。まだまだ分からない事ばかりで、皆さんにご迷惑をお掛けすると思ひますが、子ども達からパワーをもらって頑張っていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。



支援員
高見 美子

四月より乳児部でお世話になっていきます。毎日、子どもたちのキョウキョウの笑顔を見ながら仕事ができる幸せに感謝です。明るく清潔な環境作りを心掛け、仕事を楽しみたいと思ひます。子どもたちから元気パワーをいただき、若返りもたくらんでいます。どうぞよろしくお願ひします。



乳児院「鳥取こども学園乳児部」決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減 (△ 額)
児童福祉事業収入	162,550,000	162,846,767	296,767
借入金利息補助金収入	21,000	21,248	248
経常経費寄附金収入	320,000	320,000	0
受取利息配当金収入	4,000	6,727	2,727
その他の収入	2,585,000	2,592,699	7,699
施設整備等補助金収入	226,000	225,600	△ 400
前期末支払資金残高	0	22,643,425	22,643,425
合 計	165,706,000	188,656,466	22,950,466

支 出

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減 (△ 額)
人件費支出	135,698,000	135,217,126	△ 480,874
事業費支出	14,272,000	13,736,129	△ 535,871
事務費支出	6,227,000	5,919,187	△ 307,813
支払利息支出	154,000	153,400	△ 600
その他の支出	2,400,000	2,406,220	6,220
設備資金借入金元金償還支出	1,228,000	1,228,000	0
積立資産支出	199,000	198,737	△ 263
拠点区分間繰入金支出	799,000	799,000	0
合 計	160,977,000	159,657,799	△ 1,319,201

収入支出差引残金 ￥28,998,667 -は次年度繰越

情短施設

鳥取こども学園希望館

希望館生活棟完成

株式会社 山下設計

設計室長 山根 秀康

生活棟の改築には、たくさんの方々の力をいただきました。一年間に及び建築で実際に携わった方々の思いが込められた竣工となりましたことを感謝申し上げます。

毎週の会議を通じて、私達の仲間に加わった建築士の山根様がお気持ちや文章にしてくださいましたのでご紹介いたします。

この度は、希望館生活棟改築の設計・監理に携わらせていただきありがとうございますとございました。建築士として、とても幸せな経験でした。事業のコンセプトは「子ども達にとって最高の環境をつくる」、「小舎制での家庭的雰囲気の中で子ども達の成長を支援する。」というものでした。一年以上かけて全職員で話し合い希望館の理想像を作り上げてこられたところで、学園の皆さんの思いが一つの方向性に集約されていきました。プロポーザルの要領書には、熱い思いと、明確なコンセプト、具体的に詳細な要件が記されていました。

求められた内容に対して、私たちが提出したプランは、広いLDKを各ホーム

の中心に据え、各室をその周りに配する提案でした。子ども達が個室にこもることなく、自然にリビングに集い、メンバーの団結が図られる事をねらったものです。リビングが通路となるため廊下を減らすことができ、面積を有効に使用しました。木造にすることで建物の柔らかさに加え、コスト低減と建物自重が軽くなりました。

実施設計の段階での学園スタッフの皆さんと重ねた会議は、困難な課題には充分な時間をとりながらも、大変にスムーズに決まって行く会議で、スタッフの皆さんと一緒に課題をクリアしていく過程がとても楽しい時間でした。グラウンドの広さを確保するため、「このプランでは建設できないかもしれない」という危機がありました。工期を二期に分けて、第一児童棟を南駐車場に建て、旧希望館を解体後、さつきホームをその場所に建てるという案で解決できました。

その結果、プロポーザル時の提案より納まりのいい施設配置になっています。最終プランに到達するまで、とことん話し合うことで、みなさんの思いがいつかは詰まった、すばらしい建物になったと思います。

完成した建物の特徴は「静かな中庭に面した広いLDKと南側に配置した児童居室」、「自然な光と風を取り込むプラン」、「次世代断熱仕様、全窓Low Eペアガラス」、「二階床の高遮音性(床厚

66mm)」、「耐震等級一(基準法の1.25倍の強さ)」、「全館LED照明」、「調湿性能(西洋しつくい塗り壁)」などです。

これらの性能を確保しながらシステムキッチンやクローゼット等家具も含めて低コストを実現し、ランニングコストの大幅な削減も期待できます。

完成後、職員の方からは、「子ども達がリビングで過ごす時間が増えた」、「断熱性能がよく冷暖房がよく効く」、「食器や洗濯物がよく乾く、結露がない」等、うれしい声をいただきました。また、引越後、ホームの子どもさんが駆け寄って、「素敵な家を建ててくれて、ありがとうございます」と言ってくれました。その日は、この仕事をしていた一番うれしい日になりました。

この家で過ごした子ども達の未来がすばらしいものになるよう願っています。学園の皆様、本当にありがとうございます。

職員自己紹介

わかばホーム



保育士 松田 菜々美

今年度から保育士としてわかばホームに入りました。松田菜々美と申します。何事も諦めず一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。

◆のぎく・しらゆりホーム



保育士
吉田 美里

四月から希望館の女子プロックで勤務しています。

子ども達とホームにとって安心できる存在になれるように、仲良く一緒に成長していきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひします。

◆しらゆりホーム



保育士
操上 由佳

はじめまして。四月からしらゆりホームで働いています。子ども達との関わりを毎日楽しく元気にがんばります！

よろしくお願ひします。

◆さつきホーム



児童指導員
井口 真也

四月から希望館で働くことになりました。四月からさつきホームの職員として働きます。子ども達を暖かく見守りながら、共に成長していけるよう頑張りますのでよろしくお願ひします。

情短施設「鳥取子ども学園希望館」決算書

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減△/額
児童福祉事業収入	199,017,000	200,545,328	1,528,328
借入金利息補助金収入	11,000	10,624	△ 376
経常経費寄附金収入	100,000	100,000	0
受取利息配当金収入	3,000	1,538	△ 1,462
その他の収入	2,793,000	2,827,059	34,059
施設整備等補助金収入	139,223,000	139,222,150	△ 850
施設整備等寄附金収入	800,000	800,000	0
設備資金借入金収入	29,715,000	29,700,000	△ 15,000
拠点区分間繰入金収入	4,644,000	4,644,000	0
前期末支払資金残高	0	3,369,002	3,369,002
合 計	376,306,000	381,219,701	4,913,701

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減△/額
人件費支出	163,902,000	163,603,121	△ 298,879
事業費支出	34,457,000	33,181,732	△ 1,275,268
事務費支出	5,300,000	5,221,554	△ 78,446
支払利息支出	78,000	77,900	△ 100
その他の支出	2,763,000	2,795,560	32,560
設備資金借入金元金償還支出	714,000	714,000	0
固定資産取得支出	168,825,000	168,887,040	62,040
積立資産支出	267,000	267,178	178
合 計	376,306,000	374,743,085	△ 1,557,915

収入支出差引残金 ￥6,471,616 -は次年度繰越

保育所
鳥取みどり園

就任にあたり、
保育園が穏やかなやさしい場に！
わくわくする場所に！



園長
二村 繁美

鳥取みどり園の子どもたちが桜の若葉の並木の中、燕の巣を見つけ歓声をあげることとなりました。鳥取みどり園は約六十五年前に創設者藤野と氏がキリスト教精神のもとで児童養護施設鳥取子ども学園に併設して立ち上げ、それ以降地域の子どもを育み、家庭の支援を続けてきました。創立の意味のひとつに児童虐待の予防を考へており、保育園を当時の考へで創立、運営されたのは驚きです。今でこそ虐待予防の取り組みは様々にされていますが、六十五年前に先駆けて実践されています。家庭の事情で朝食を食べずに来た子どもには朝食を提供していたと聞いています。

毎日登園に付き添ってこられる祖父母、両親に「みどり園卒園生」と話される方が多く、鳥取みどり園が地域の中に、人々の思い出の中にとけこんでいることを実感します。また、鳥取子ども

学園が社会的擁護の分野で全国をリードする働きをなしているのもこの地に支えられていることも思われます。

保育園に子どもが登園すると長い子どもは家族のご都合で十二時間も過こします。保育園で過ごす時間が家庭にいる時間より長いのが実状です。だからこそ、保育園でいろいろな人柄に触れて過こしてほしい。また、家庭の代替えになるようなくつる保育園、地域でかねては遊びほった場の代替えとしての保育園でありたい。また、文化、芸術にも触れる場であってほしいと思えます。キリスト教精神に基づく鳥取みどり園の使命として、一人ひとりの子どもたちの発達を保障し情緒を育むという根本に立ち、今までに築かれた土台の上に進んでいきたいと思ひます。就任にあたり皆様のご理解、ご支援をお願い申し上げます。



職員自己紹介



保育士 山根 由加

昨年九月から鳥取みどり園で働いてます。子どもたちと触れ合う毎日、「こんなこというんだー」「こういう風に考えてるんだー」「こんなことするんだー」の発見の日々！そして、子どもから学ぶことも多いと感じています。そんな子どもたち一人ひとりの思いを大切に子どもたちと一緒に笑ったり泣いたり、怒ったり悩んだりしながら共に育っていかれたらと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



保育士 岡垣 杏奈

昨年の十一月から鳥取みどり園で働かせていただいています。大好きな子どもたちと毎日元氣いっぱい、笑顔いっぱいで過ごしていきたいと思います。子どもたちと一緒に自分も成長していきたいと思います。一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひ致します。



保育士 吉村 愛音

今年度より、鳥取みどり園で働かせていただくことになりました。日々、学ぶことを忘れず、子どもに負けないくらい、元氣に頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

保育所「鳥取みどり園」決算書

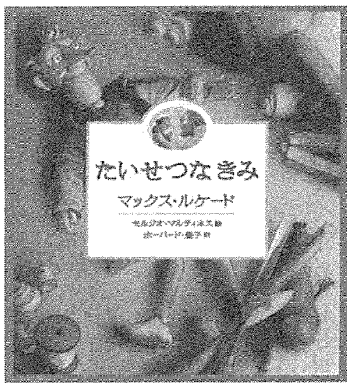
収入 (単位: 円)

科 目	予算額	決算額	比較増減△/額
保育事業収入	163,944,000	163,071,592	△ 872,408
経常経費寄附金収入	167,000	167,357	357
受取利息配当金収入	5,000	1,891	△ 3,109
その他の収入	2,134,000	2,149,827	15,827
積立資産取崩収入	0	2,181,390	2,181,390
前期末支払資金残高	0	62,830	62,830
合 計	166,250,000	167,634,887	1,384,887

支出 (単位: 円)

科 目	予算額	決算額	比較増減△/額
人件費支出	132,342,000	132,269,890	△ 72,110
事業費支出	19,339,000	19,277,677	△ 61,323
事務費支出	4,300,000	4,270,859	△ 29,141
支払利息支出	551,000	551,707	707
その他の支出	2,083,000	2,098,090	15,090
設備資金借入金元金償還支出	2,424,000	2,424,000	0
固定資産取得支出	970,000	970,500	500
積立資産支出	192,000	2,373,890	2,181,890
合 計	162,201,000	164,236,613	2,035,613

収入支出差引残金 ¥3,398,274 -は次年度繰越



「たいせつなきみ」いのちのことば社

四月から「こころの発達クリニック」事務員になりました。由井と申します。この鳥取こども学園には、二年ほど前からお世話になっております。これまでは子ども家庭支援センター「希望館」にありました。クリニックに移り、ドキドキの出動一日目のこと。「あれ？(事務員)代わったか？」(前の人)「辞めたの？」と、受付に座る私の姿を見て、ヒックリしながら尋ねてこられる患者さまたち。中には、前事務員さんがおられなくなって寂しそにされる方も…。なんだか申し訳ない気持ちになりましたが、逆に、私もそう思っていただけぐらいになりたいと感じました。クリニックに来院される患者さまとの

診療所 こころの発達クリニック

事務員 由井みどり

関わりを大切にしながら、精一杯頑張りたいと思います。

さて、「ここからは、私の好きな絵本を紹介したいと思います。『たいせつなきみ』という絵本、ご存じでしょうか。舞台、は、ウィミックス、という木でできた小人たちが暮らす街。そこでは、ほめたい人には「星じるしシール」、けなしたい人には「だめじるしシール」を貼ることが流行っています。だめじるしシールばかり貼られてしまう小人のパンチネロが、どちらのシールもくっついていない不思議な小人ルシアに出会い、創り手の彫刻家エリに会いに行くことを勧められます。勇気を出して自分のエリに会いに行ったらパンチネロは、なぜルシアにはシールがくっつかないのか尋ねます。エリは答えます。「それはね、わたしの思うことのほうが、もっとだいじだと、あの子がめれたからなんだよ。みんながどう思うかなんてことよりもね。シールがくっつくようにしていたのは、おまえじしんだよ。」そしてこの絵本の最後にはひとつの聖句が書かれています。『わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。』(絵本より一部抜粋)

絵本の作者は牧師でもあるマックス・ルケードという作家で、まさにこの絵本もキリスト教色が濃いですが、そこには、大人にも子どもにも伝えたい深いメッセージが込められていると感じます。ぜひ、手にとって読んでみてください。

診療所「こころの発達クリニック」決算書

収入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
医療事業収入	30,514,000	30,606,820	92,820
経常経費寄附金収入	30,000	30,000	0
受取利息配当金収入	1,000	810	△ 190
前期末支払資金残高	0	6,942,919	6,942,919
合 計	30,545,000	37,580,549	7,035,549

支出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	24,470,000	24,470,340	340
事業費支出	2,005,000	1,994,836	△ 10,164
事務費支出	1,862,000	1,787,214	△ 74,786
支払利息支出	18,000	18,000	0
長期運営資金借入金元金償還支出	1,500,000	1,500,000	0
積立資産支出	32,000	31,927	△ 73
合 計	29,887,000	29,802,317	△ 84,683

収入支出差引残金 ￥7,778,232 -は次年度繰越

児童家庭支援センター「希望館」

家庭や育児、子どもをめぐめる環境においても、様々な悩みが生じることがあります。そのときのお手伝いが私たち支援センターのスタッフに出来るかもしれません。こちらが一方的に「新しい世界はある」と言っても、その人が見

新年度を迎え、事務所の窓から見えるハナミズキがきれいに咲いています。昨年度も同じことを感じ一年というのは長いよつであつたという間だとも思います。さて、みなさんは悩みの「どつば」にハマったことはありませんか？
「どつば」とはその悩み以外の世界が見えない状態、それ以外考えられない状態です。私は基本的に悩むとどつばにはまります。悩みに「固執」してしまつていく状況です。物事に固執してしまつて広い視野で物事を考えることができません。その状況にいるとその世界以外に世界があるなんて思えません。つまり、悩みのどつばから脱出する、ということからは、新しい世界に目を向けることができようになることだと思えます。しかし、新しい世界に目を向ける作業を一人でするのはとても難しいことです。

えていなければそれは無いと同じです。ですが、その人自身で世界を見つけれらるよつに、一緒に見つけるお手伝いが出来るたら、悩みのどつばから脱出できるのではないのでしょうか。それが大事な寄り添いなのではないかと思えます。
悩みは人に打ち明けにくいものです。ですが、少しでも違う世界を見つけてみよつと思いましたら、お手伝いをさせていただきます。

◆来所相談
平日 AM9時～PM6時
(祝日を除く)

◆電話相談
24時間対応
(TEL 0857-2714153)
※平日夜間 (AM0時～AM9時) ・
土日祝日は緊急相談のみ
今後ともどうぞ、子ども家庭支援センター「希望館」をよろしく願います。
また、倉吉市には、児童家庭支援センター「くわの実」、米子市には、児童家庭支援センター「米子みその」と、児童家庭支援センターが鳥取県内に三カ所となりました。



子ども家庭支援センター「希望館」決算書

収入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
児童福祉事業収入	64,000	64,000	0
その他の事業収入	12,660,000	12,660,000	0
拠点区分間繰入金収入	3,489,000	3,311,268	△ 177,732
合 計	16,213,000	16,035,268	△ 177,732

支出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	14,474,000	14,507,138	33,138
事業費支出	681,000	653,363	△ 27,637
事務費支出	1,039,000	855,024	△ 183,976
積立資産支出	19,000	19,743	743
合 計	16,213,000	16,035,268	△ 177,732

収入支出差引残金 ￥0

里親支援とっとり

里親支援機関事業

五年目を迎えて

里親委託等推進員 吉田 信彦

里親支援とっとりは五年目を迎えました。里親支援機関事業は、全国的には、児童相談所に設置されていることが多いですが、鳥取県は民間法人に委託して取り組んでいます。

それまで県や児童相談所が取り組んできた里親支援の業務を民間が担うというところで、受託当初には様々な行き違いがありました。しかし、それも過去の話で、現在は、県担当課、児童相談所はもとより、里親会の皆さん、各施設の里親支援専門相談員との連携・協働の下に着実に成果を挙げています。

現在、鳥取県では、約二百五十人の子ども達が施設で生活しています。一方、里親の下で育っている子ども達は約五十人です。すべての子ども達に家庭や家庭的な養育環境を提供するという社会的養育全体の目標の一部を担う重要な役割と信じています。

里親支援とつとりの使命は、里親と里子、関係の機関・団体の連携を創り、未来に向かうコミュニケーションを築く「接着剤」や「潤滑剤」の働きをすることです。「社会的養育の課題と将来像」の実現に向けて、里親の皆さんにスポットライトが当たっていることがきっかけとなって、里親さん同士の意見交換がますます活発になり、県境を越えた里親会との交

流の機会も増えています。また、里親と施設のつながりも確実に深まってきています。里親制度は児童福祉法の歩みと共に成長してきましたが、今こそが制度の新しいステップなのではないでしょうか。

しかし、関係の機関・団体の連携については深まってきていますが、一般の方への周知はまだ十分とは言えません。子ども達の最善の利益を身近なことでして、子どもと、子どもを見守る全ての方々のつながりの輪を、もっと地域に広げていくことを目標とし、今後も継続して業務に取り組んでいきたいと思っています。

なお、里親のことを地域の皆様に知っていただく為に、様々な機会を通じて出前講座を行っています。法人の応援をしてくださる皆様もお気軽にお声をかけてください。

里親支援機関「里親支援とっとり」決算書

※精算報告額

(単位：円)

科 目	収入・支出額	備 考
鳥取県委託費等	13,232,838	人件費、活動事務費等



自立援助ホーム 鳥取フレンド

希望館改築でできたものは？

寮長 内藤 直人

入寮・退寮があり、少しばかり人員が変わっていますが、比較的落ち着いた年度の始まりであったように感じています。

新しい希望館が完成しましたが、実をいうとフレンドの寮生が大半として工事に携わっていました。工事中盤では仕事が終わらず夜遅くまで帰ってこない日もあり、満身創痍になりながらも必死に頑張っていました。本人は希望館を建てたことに対して誇りを持っており、希望館の職員さんがフレンドにやってくるとうれしそうに「オレ、希望館を作りました。」と話さし、感謝の言葉をいいたいて、さらに照れ笑いをするといった様子があります。

フレンドにやってくる寮生のほとんどが自分のやっていることに自信が持てないといった悩みを持っています。自分の仕事に対してもその意味を見出せず、すぐに辞めてしまおう人も少なくありません。ただ、この寮生にとっては自分の一部であっても携わったものが形になったことは自信になり、それが誰かの役に立っているということがわかったことは、働く、そして生きる意味につながっています。希望館改築でできたものは物理的な建物だけではなく、実は精神的な土台であったのではないかと思っております。この寮生だけでなく新しい建物が生活する子どもたちにとっても精神的な土台になってくれればと願っています。

自立援助ホーム「鳥取フレンド」決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
児童福祉事業収入	24,385,000	24,374,380	△ 10,620
経常経費寄附金収入	60,000	60,000	0
受取利息配当金収入	1,000	1,960	960
その他の収入	605,000	605,857	857
前期末支払資金残高	842,000	6,408,618	5,566,618
合 計	25,893,000	31,450,815	5,557,815

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	21,406,000	21,388,051	△ 17,949
事業費支出	2,035,000	1,995,059	△ 39,941
事務費支出	2,023,000	1,950,427	△ 72,573
その他の支出	400,000	399,000	△ 1,000
積立資産支出	29,000	28,608	△ 392
合 計	25,893,000	25,761,145	△ 131,855

収入支出差引残金 ￥5,689,670 -は次年度繰越

自立援助ホーム「鳥取スマイル」決算書

収入

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
児童福祉事業収入	20,470,000	20,736,162	266,162
経常経費寄附金収入	50,000	50,000	0
受取利息配当金収入	1,000	230	△ 770
その他の収入	1,245,000	1,238,000	△ 7,000
拠点区分間繰入金収入	1,700,000	1,700,000	0
前期末支払資金残高	233,000	510,056	277,056
合計	23,699,000	24,234,448	535,448

支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	18,405,000	18,362,476	△ 42,524
事業費支出	2,135,000	2,036,299	△ 98,701
事務費支出	2,722,000	2,663,774	△ 58,226
その他の支出	410,000	403,000	△ 7,000
積立資産支出	27,000	26,808	△ 192
合計	23,699,000	23,492,357	△ 206,643

収入支出差引残金 ￥742,091 ←は次年度繰越



児童指導員
小林 享二

職員自己紹介

寮生たち一人一人を大切に思い、思いやりと優しさを重んじ、笑顔の絶えない「鳥取スマイル」をめざしていきたいと思えます。今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

自立援助ホーム
鳥取スマイル

寮長 田村 崇

鳥取市に引っ越してきて二年目のスタートとなりました。四月一日現在では、五名の寮生たち(男子四名女子一名)がそれぞれの目標に向かい日々の生活を送っております。また、二名の新スタッフを迎え新しい体制になりました。本体施設である鳥取こども学園と同法人内にあるもう一つの自立援助ホーム鳥取フレンドとの連携をこれまで以上に深めていき、安全で安心した日々の暮らしを営んでいきたいと思っています。



補助員
太田 垣 茂

四月一日より自立援助ホーム鳥取スマイルで働いております、小林亨二です。皆のペースを大切にしながら、一緒に毎日を過ごしていきたいと思えます。宜しくお願いします。

四月一日より自立援助ホーム鳥取スマイルで働いている、鳥取こども学園出身の太田垣茂です。いろいろな人たちとふれあい、いろんな経験をして、寮生たちと楽しい日々を作りたいと思えます。よろしくお願いします。

地域若者サポートステーション事業
とっとり・よなご若者
サポートステーション

三年目を迎えて

総務コーディネーター 山田 香子

よなご若者サポートステーションは平成二十七年三月二十八日、イオン米子駅前店四階フロア内に移転し、新区画での営業は三月三十一日より始まりました。イオン米子駅前店には、鳥取県西部

の就労支援機関が一同に集合し、ワンストップサービスで就労支援が受けられるよう、各機関が連携しながら支援を行っていくことになりました。

その中で若者サポートステーションは、働きたい・社会参加したい思いを持ちながら、一歩が踏み出せない、何から始めていいのかわからないなど就職や進路選択で困難を感じている若者(十五～三十九歳)と、その家族を対象とした相談支援機関です。

この春で開所してから三年目となりますが、まだまだ西部地域で若者サポートステーション事業の周知・理解が届けられていないように感じます。出張相談をはじめ、関係機関へのあいさつ回り、広報活動にも力を入れています。さらなる工夫の余地があるかと思えます。

今年度は、雇用対策に力を入れるという事で、ハローワークとの連携や、定着・ステップアップ事業が全国のサポートで展開されます。

定着・ステップアップ事業では、サポート卒業者の職場定着またはステップアップに向けて一定期間後の就労状況の確認や、相談支援及びトレーニングを行っています。

新規事業に加えて、フロア内の新体制など、新しいことだらけのなか、毎日業務にあたっております。

私たちスタッフもサポート三年生になりました。開所当初は、みんながサポート一年生であり、そして法人職員としても経験の浅い中、業務にあたることにな



所長
星見 元史

職員自己紹介

部署がわかりやすく、そして見えやすくなったことだけではなく、私たちサポートスタッフがやっている支援をもっと皆様にわかりやすくお伝えし、そして、法人が目指す地域に密着した支援をこれからも提供していきたいと考えております。

新区画に移動したことにより、内部の配置も変わりましたので、まだまだ慣れないことが多いですが、利用者や周りの方々からは、「サポートの入り口が見えやすくなって良かったね。」とか、「広くなりましたか?」(実際は以前よりも少し狭くなったのですが...) など色々な反響をいただいております。以前の場所はわかりにくかったようですので、「よなごサポートはどこにあるのか?」という話をよく耳にしました。

四月からとっとり・よなご若者サポートステーションでお世話になっております。サポートステーションのスタッフと就職を目指す若者の方たちのサポートに尽力したいと思っています。

とっとり若者サポートステーション

「サポートって何?」どこにあるの? という方はまだまだ沢山いらっしゃると思います。

とっとり若者サポートステーション(以下「サポート」という)は、「働きたいけど何からして良いのか分からない」「自分はどうな仕事に向いているのだろう」「人と接するのが苦手だけ」「仕事をしたいことがあるけど長続きしない」など、就職や進路決定への悩みを抱えている若者(十五歳から三十九歳で学校に在籍していない)とその家族を対象にした相談支援機関として、平成二十年度に事業を開始して八年目を迎えます。

とっとりサポートの支援の内容は、キャリアカウンセリング、心理カウンセリング、グループワーク、ジョブトレーニング、社会人基礎力習得支援(サポート塾)に加え、新たにサポートの支援を受け就職をされた方について、就職後も一定の期間フォローアップする定着・ステップアップ支援と三ヶ月間の連続した就労体験により就労に結びつくように支援をするチャレンジ体験支援を実施します。

地域若者サポートステーション事業決算書

「とっとり若者サポートステーション」

※精算報告額

(単位:円)

科目	収入・支出額	備考
厚生労働省委託費	16,830,323	体制費、活動事務費
鳥取県委託費	8,514,346	体制費、活動事務費、事業経費

「よなご若者サポートステーション」

※精算報告額

(単位:円)

科目	収入・支出額	備考
厚生労働省委託費	13,474,021	体制費、活動事務費
鳥取県委託費	9,275,723	体制費、活動事務費、事業経費

とっとり若者サポートステーションは、交通のアクセス抜群のJR鳥取駅南口にあるフコク生命駅前ビルの一階に漂として存在しています。お隣さんは「とっとり若者仕事ひろば」「ふるさと鳥取県定住機構」です。

サポートは就職、社会参加に向けて「はじめの一步」を踏み出そうとしている若者の支援をしています。

鳥取養育研究所決算書

収入

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減(△)
その他の事業収入	1,439,000	1,435,800	△ 3,200
受取利息配当金収入	1,000	152	△ 848
前期末支払資金残高	36,000	851,348	815,348
合計	1,476,000	2,287,300	811,300

支出

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減(△)
事業費支出	994,000	988,185	△ 5,815
事務費支出	482,000	472,344	△ 9,656
合計	1,476,000	1,460,529	△ 15,471

収入支出差引残金 ¥826,771 -は次年度繰越

鳥取養育研究所

実践と理論の先にあるもの

運営委員長 内藤 直人

鳥取養育研究所も開設して四年目の春を迎えました。一時休止状態になったこともありますが、第一期鳥取養育研究会から数えるとおおよそ三十年の歴史になります。

その間、さまざまな研究や研修を行ってきました。三十年前に鳥取養育研究会が設立したときには実践者だけでなく、研究者にも参加していただき、ケースカンファレンス形式で議論を行いながら、実践と理論について検討を行ってきたというのを当時、中心に活動をされてきた諸先輩方から話を聞いています。

昨年度は鳥取養育研究所の核となる子どもの権利条約の国連採択二十五周年・日本批准二十周年にあたる年でした。鳥取養育研究所は「子どもと施設の権利擁護全国ワークショップ」の特別企画として「子どもの権利条約批准二十周年記念コルチャック先生の足跡を訪ねるポーランドツアー」を実施いたしました。鳥取

県だけでなく日本各地からご参加をいただき、子どもの権利に関して先進国であるポーランドに行き、コルチャック先生の足跡をたどることによって子どもの権利条約の基礎となつている思いや考え方を学ぶことができたのではないかと感じています。

さて、鳥取養育研究所を運営するにあたって、特に「理論と実践の統合」といったことが議論されます。実際に実践をしていることを整理することによって、新たな養育理論が構築され、さらに新たな養育理論がまた新しい実践を作り出す…といったことが鳥取養育研究所の使命であります。ただ、実践と理論構築のそついつた流れの中で最終的に実践と理論を超えた何かが生み出されるものがあるのではないかと考えています。それはコルチャック先生の実践が最終的に「子どもの権利条約」をつくるに至つたように、養育に関する「理念」のようなものであり、それがどの世界であっても共通の考え方として理解ができるものではないかと思つています。

残念ながら鳥取養育研究所はまだまだそついつた「理念」を生み出すといったところには至っていませんし、実践の中から養育理論を構築するといった面でもまだまだ初期段階の状態ではありませ

ん。ただ、今、目の前にいる子どもたちに対する支援を大切にしながら、施設養育だけにとどまらず、家庭での養育あるいは地域での養育ということに対して広い視野を持つた議論を展開していきたいと考えています。そのことは三十年前に鳥取養育研究会が設立したときと変わらざ大切にしていることです。そついつた基礎を大切にしながらいつか世界中のどの子どもにも優しい「理念」が生み出さればと願っています。

はまむら作業所

四回目の春、はまむら作業所もむかえる事ができました。開設当初より今も変わる事がありません。利用者さんの御家族様、はまむらの皆様、企業関係様の絶え間ない「愛」を励みに日々就労支援や生産活動等、利用者さん、スタッフ一同取り組んでおります。

本年は、「就労移行支援事業」を開始して二年目。法制度の改正もあり、利用者さんの一般就労に向け「より一層の努力」が事業所にも利用者さんにも求められています。

はまむら作業所は、就労活動（農家さ

障がい福祉サービス事業「はまむら作業所」決算書

収入

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
就 労 支 援 事 業 収 入	1,650,000	1,589,680	39,680
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 等 事 業 収 入	11,614,000	11,720,692	106,692
経 常 経 費 寄 附 金 収 入	0	30,000	30,000
受 取 利 息 配 当 金 収 入	1,000	163	△ 837
そ の 他 の 収 入	292,000	298,200	6,200
拠 点 区 分 間 繰 入 金 収 入	8,135,000	8,048,796	△ 86,204
合 計	21,692,000	21,787,531	95,531

支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人 件 費 支 出	15,922,000	15,943,037	21,037
事 業 費 支 出	2,463,000	2,352,926	△ 110,074
事 務 費 支 出	892,000	850,667	△ 41,333
就 労 支 援 事 業 支 出	1,990,000	1,995,005	5,005
そ の 他 の 支 出	0	157,200	157,200
流 動 資 産 評 価 損 等 による 資 金 減 少 額	0	63,288	63,288
固 定 資 産 取 得 支 出	400,000	387,270	△ 12,730
積 立 資 産 支 出	25,000	25,408	408
そ の 他 の 活 動 による 支 出	0	12,730	12,730
合 計	21,692,000	21,787,531	95,531

収入支出差引残金 ￥0

ん・企業さんからの受託作業・販売機会の増など、就労機会・バランスの工夫に努めています。の充実だけでなく、就労力キュラムの充実に現在奮闘中です。一人ひとりのスキルアップや支援を「就職する」という形にすべく、本年は実習等の機会を有効活用してまいります。企業関係者の皆様、御家族様、各相談機関関係者様、障がい者就労支援の関係者様、どうぞ、御協力お願い申し上げます。

事業所単独だけでなく、昨年発足した、法人内の就労支援連携連絡会の関係者とも協力し、今まで築き上げたものを基礎に、社会で「働く事・生活し続ける事」ができるよう法人チーム一丸となり実績を残します。

こつこつ努力し、実績をあげる事を開設当初よりモットーに、それは、現在も変わっておりません。年々、課題解決や支援の工夫は必要となってきたてはありますが、初心を忘れず、今後ともはまむら作業所利用者さん、スタッフ共々精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願ひします。



退所児童等アフターケア事業「ひだまり」決算書

収入 (単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
委 託 料 収 入	12,120,000	12,120,000	0
助 成 金 収 入	0	100,000	100,000
寄 付 金 収 入	0	74,175	74,175
雑 収 入	0	113,191	113,191
合 計	12,120,000	12,407,366	287,366

支出 (単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
人 件 費 支 出	9,612,797	9,061,440	△ 551,357
運 営 費 支 出	2,507,203	3,345,926	838,723
合 計	12,120,000	12,407,366	287,366

収入支出差引残金 ￥0

退所児童等アフターケア事業
ひだまり

所長 中嶋 進一

本事業所は、多くの皆様の温かいご支援、ご協力をいただいて八年目を迎えております。

四月から新たに就労支援員として中村 徹 支援員、大久保忠則支援員を迎え、生活・就労支援の充実に向けて職員が一丸となつて、様々な関係機関と連携しながら、きめ細かな支援を行ってまいります。今後も皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひします。

職員自己紹介



就労支援員
中村 徹

四月から、就労支援員としてお世話になることになりました。これまでは小学生が対象でしたが、これからは高校生・社会人が対象となるうえに、就労という全くの未知の仕事となりますので、どれだけ支援ができるかわかりませんが、こ

れまで子ども達に注いでいた愛情を支援を必要とする人達に向け、支援の背景をしっかりと把握しながら、社会人として自立できるように話し合いをもとに支援していきたいと思っています。



就労支援員
大久保 忠則

四月から就労支援員として勤務しております。はじめての事ばかりで沢山ご迷惑をおかけすると思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

「こどもに希望の住まいを」をテーマに築40年の鳥取こども学園希望館の改築工事を実施しました。改築に合わせ、子ども達のベッド(35台・800,000円)を有限会社光琳様の助成金を受け購入させていただきました。安心と安全、そして成長を最優先する私達の施設での子ども達の生活を支える大切なベッドとなります。

有限会社光琳様に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

**当学園事業へのご寄付
後援会へのご加入に
感謝申し上げます。**

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、
下記のとおりです。
心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (H26. 11. 24 ~ H27. 4. 27)

敬省略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
あいおいニッセイ同和損害保険会社	鳥 取 友 の 会	加 藤 吉 利	(有)エフエムエルサービス
MS&ADゆにぞんスマイルクラブ	土 江 浜 代	本 倉 通 憲	林 義 雄
日本キリスト教児童福祉連盟	鳥 取 教 会 シ オ ン 会	朝 倉 井 喜 臣	鳥 取 医 療 器 株 式 会 社
内 藤 直 人	秋 崎 る り 子	藤 齋 藤 光 啓	田 中 耕 自
藤 野 興 一	三 木 康 二 子	伊 望 吹 月	高 野 晃 一
鳥取ライオンズクラブ	松 岡 京 子	伊 望 卷 田	片 村 俊 子
有限会社 光 琳	清 水 恭 子	望 卷 草 野	森 本 喜 一 ・ 多 恵 美
きままッズ C L U B	奥 羽 徳 行	草 野 雅 佳	医 療 法 人 社 団 荻 原 医 院
山 下 孝 子	茗 荷 京	前 田 下 原	山 中 友 子
小羊教会 代表 市川益子	グ ロ ー ス の 会 一 同	山 上 原 下 山	原 田 快 子
松 永 陽 明	コ タ ニ 代 表 取 締 役 小 谷 憲 司	山 上 原 下 山	中 山 巖 雄 人
鈴木早苗、横山純一、横山勝	端 戸 頼 樹	山 馬 白 加	池 田 征 人
矢 野 信 也	南 條 妙 子	馬 白 加 田	N P O 法 人 ス タ ジ オ イ ー
(有)浜崎建築事務所	新 矢 楯 敏	白 加 田 大 原	塩 田 悠
中 原 絵 理	竹 下 努 果	加 田 大 原 千 小	ホ ッ ト ほ ッ ト ク ラ ブ 代 表 勝 原 俊 恵
榎 本 美 雪	(株) 住 谷 青	大 原 千 小 川 川	前 田 豊 貴
戸 松 千 幸 子	橋 本 外 科 医 院 理 事 長 橋 本 英 宣	川 山 福 柳 各 山	い さ み や 商 店
西 中 嶋 利 清 之	田 村 文 代	山 福 柳 各 山 梅 近	松 本 上 信 正 博
住 田 泰 克 己	伊 藤 文 代	柳 各 山 梅 近 中	山 本 山 健 純 和 俊 住 典 玲 由 喜
藤 原 中 幸 泰 佑 司	鳥 取 み ど り 園 職 員 一 同	中 梅 近 中 粹 湯 高 上	中 岩 田 野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
田 上 三 吉 綾 福 中 林 依 滝 仁 二 富 川 前 一	吉 野 朱 一 実 就 子 見 どり 臣 樹 昭	粹 湯 高 上 浜 杉 渡 江 池	野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
木 川 木 田 村 田 依 滝 仁 二 富 川 前 一	安 福 寿 見 どり 臣 樹 昭	高 上 浜 杉 渡 江 池	野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
綾 福 中 林 依 滝 仁 二 富 川 前 一	相 見 園 臣 樹 昭	池 長 賀 本 工 務 野 間	野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
福 中 林 依 滝 仁 二 富 川 前 一	幾 野 正 裕 昭	谷 成 賢 二 根	野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
依 滝 仁 二 富 川 前 一	株 式 会 社 千 代 エ ン ジ ニ ア リ ン グ	山 根	野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
仁 二 富 川 前 一	岸 律 子		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
富 川 前 一	株 式 会 社 二 シ 才		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
前 一	大 同 端 子 製 造 株 式 会 社		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
一	春 陽 法 律 事 務 所 弁 護 士 石 田 文 三		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	叶 原 士 筆 望		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	植 田 望		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	さ と に 田 園 ク リ ニ ッ ク 理 事 長 太 田 隆 彦		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	福 島 庸 二 弘 夫 子 陽 子 機 男 則		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	小 川 泰 道 夫 子 陽 子 機 男 則		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	廣 田 道 陽 子 機 男 則		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	株 式 会 社 フ ジ 電 機		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	佐 藤 道 男 則		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	大 呂 隆 則		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	(有)大興産 代表取締役 大呂育代		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間
	ゆうわ 総合法律事務所		野 津 野 森 山 德 吉 大 高 中 山 加 石 尾 亀 池 丈 井 (株) 野 間

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
(医)かわぐち皮膚科 理事長 川口俊夫	鳥取県福祉相談センター 職員有志	井 上 裕 子	吾 妻 商 事
小 橋 房 子	田 中 洋 子	日本基督教団 鳥取教会	和 島 鉄 工 所
鳥 山 玲 子	山陰酸素工業(株) 鳥取支店	齋 藤 義 実	シ グ ナ ル
堀 内 苑 生	柴 田 隆 嗣	太 田 栄 市	山 陰 警 備 保 障
(医)きむら耳鼻咽喉科医院	小 竹 多 喜 雄	米 田 怜 美	山 根 栄 子
尾 崎 英 二	中 原 麻 美 子	日本キリスト教団上井教会	地 原 と も 恵 子
(有)赤山建築設計事務所	岸 本 純 子	早岐キリスト福音教会 牧師 河野敬一	古 田 マ サ 子
半 田 卓 實	いしど歯科クリニック	玉 木 敏 久	玉 川 平 二 浩 郎
(社福)あけの星会	加 藤 和 徳	日本基督教団 米子教会社会委員会	秋 崎 洋 敏 江 枝
井 上 耕 介 子	小 長 井 賀 與 充	加 藤 泰 史	中 村 口 夏 枝 代
栗 本 悦 子	清 水 昭	加 藤 和 枝	岡 齋 藤 基 春 代
河 津 由 幸	倉吉ひかり法律事務所 辻本周平	トットリアフトピア協会	中 村 口 夏 枝 代
3 H の 会	近 藤 早 苗	大 角 美 佐 江	中 丸 山 順 子
百 村 佐 智 彦 子	工 作 社	中 嶋 克 子	丸 川 口 孝 一 芳 裕
福 田 明 彦 子	み な み 歯 科 医 院	黒 川 和 子	藤 原 毅 崇 裕
生 田 百 合 子	木 村 信 行 子	中 川 康 子	柴 田 崇 裕
松 田 章 義 子	酒 巻 佐 代 子	江 原 雅 子	日本基督教団鳥取新生教会
島 崎 美 智 子	海 藤 ひ ろ み	安 井 久 美 子	労 福 協 東 部 支 部
宮 本 順 子	中 嶋 哲 一 保 美 子	大 谷 恭 一 加 子	子 ども 人 権 広 場
井 口 武 久 彦	浜 田 久 美 子	安 本 芳 恵 子	鳥 取 ヤ ク ル ト 販 売 (株)
尾 崎 祥 彦	淡 交 会 鳥 取 青 年 部	岸 浅 田 悦 子	熊 谷 和 紀 世
鳥取商事株式会社 代表取締役 中村 信彦	井 上 仁 恭 美 子	ユカ自動車株式会社 代表取締役 須崎史朗	鳥 取 県 立 保 育 専 門 学 院 同 窓 会
清 水 雅 彦 子	岩 淵 明 悦 子	大 森 慧 子	(株) 大 英 組
尾 崎 倅 子	前 田 悦 里 美 子	日 本 画 グ ル ー プ 鳥	千 代 建 設 (株)
若 木 太 郎 憲 子	林 本 浩 三 子	米 原 大 進 子	(有) 國 本 建 設
熊 谷 美 喜 代 子	鳥取鶏卵販売株式会社 代表取締役 渡邊良将	滝 河 和 淑 子	(有) 萩 原 建 設
金 田 靖 典 道 子	坂 根 政 代 仁 衛 子	政 田 淑 美 章 子	塚 川 建 設 (株)
曾 我 修 道 子	柴 田 中 儀 衛 子	森 脇 山 井 美 どり 彦 薫 治 子	(有) 中 村 伊 平 商 店
(株)ヤマテ機材 代表取締役 山根 茂	田 中 儀 衛 子	船 山 井 信 彦 薫 治 子	(株) 寺 谷 組
山 根 茂 里 美 子	日 本 基 督 教 団 用 瀬 教 会	由 吉 田 信 彦 薫 治 子	(株) サ カ モ ト
稲 村 ま 由 美 長 子	前 田 俊 和 子	岩 崎 憲 治 子	中 島 素 美 之 子
鈴 木 真 由 美 長 子	株 式 会 社 三 協 レ ン タ ル	植 田 根 浩 裕 治 子	中 原 毅 千 恵 子
田 村 明 長 子	松 田 佐 恵 子	山 木 本 裕 治 子	米 原 電 気 管 理 事 務 所
小 原 知 子	中 西 眞 治 朗 徳 子	上 村 優 子	谷 垣 由 紀 恵 明 子
タグチレディースクリニック 田口俊章	明 場 達 朗 徳 子	韓 国 清 州 市 交 流 団 一 同	藤 井 重 道 子
大 平 千 恵 子	河 川 本 由 美 子	大 倉 幸 雄 二 郎	白 井 道 子
松 村 栄 弘 子	田 中 幹 志 保 準 子	林 敬 二 郎	やまこう建設(株) 代表取締役社長 岸本行正
市 谷 年 弘 子	谷 本 見 直 子	鳥 取 商 工 会 議 所 女 性 会	(株) 懸 樋 工 務 店 代 表 取 締 役 懸 樋 義 樹
竹 中 成 代 敦 子	塩 谷 口 直 康 文 子	ア ー ト 印 刷 (株)	常 井 幹 生 敏 江 彦 子
学 校 法 人 愛 真 幼 稚 園	福 森 田 繪 理 子	鳥 取 市 仏 教 会	内 海 辰 郎 静 信 七 緒 氏
井 手 添 正 道 子	森 濱 田 村 郁 弘 志 子	浅 野 和 子	平 野 辰 郎 静 信 七 緒 氏
有 限 会 社 岸 田 ガ ラ ス 店 代 表 取 締 役 岸 田 賢 伸	田 村 郁 弘 志 子	社 会 福 祉 法 人 東 光 学 園	安 藤 信 七 緒 氏
岩 田 美 代 子	足 川 口 和 周 瑞 男 礼 子	鳥 取 市 津 ノ 井 地 区 民 生 児 童 委 員 協 議 会	鍋 島 七 緒 氏
(株)メモワールイナバ	川 口 和 周 瑞 男 礼 子	鳥 取 ビ ル ク リ ー ナ ー	無 名
松 本 文 樹 弘 武 子	竹 原 中 田 庭 子	東 洋 交 通 施 設	
河 本 充 弘 武 子	田 栗 大 庭 子	あ た ら し 建 設	
岡 田 利 男 子		シ グ マ 電 気 工	
夕 ケ ナ カ ト モ ハ ル		東 部 電 工	
前 田 利 男 子			
鳥 取 み ど り 園 保 護 者 会			

物 品 寄 付 者 (H26.11.17~H27.5.7)

敬省略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
スリーパー鳥取店 鳥取県教職員組合 大 樹 寺 海 陽 亭 全国シャンメリー共同組合 松 本 剛 典 修 立 小 学 校 カゴメ(株)カゴメトマトリー事務局 南 條 芳 浩 岩 本 純 子 日本鏡餅組合 理事長 樋口元剛 小 坂 郁 枝 坂 田 澄 子 三 芳 順 子 桑 田 彩 乃 (株)竹中工務店鳥取営業所 所長 杉本正衛 竹中工務店安全衛生協力会 鳥取支部長 山本正広 鳥取敬愛高校Sクラブ	笹 山 容 子 築 天 (株) 市 谷 年 弘 小 坂 郁 枝 パ ン ド ラ の 箱 浅 井 慶 紀 加 藤 貴 代 美 修立小学校職員一同 黒 川 和 子 イ オ ン 津 ノ 井 店 清 水 雅 彦 立 5・2 区 町 内 会 山 陰 中 央 新 報 場 福 田 養 蜂 宮ノ下小学校5年生 岩 瀧 明 美 福 寿 み どり 鳥取県中小企業団体	鳥取鶏卵販売株式会社 とうふのたぶち (株)上田包装企業鳥取 光琳グループ 猪口吉野 大分からあげ みのつ家 鳥取ライオンズクラブ フリップリスジャパン(株)森之 鳥取更生保護女性会 倉 元 麻 美 キルトクラブ 谷 口 坂 田 剛 一 U F O 扇 町 店 徳 田 商 店 山 本 正 明 まるごみ薩摩本部実行委員会 (株)みやげ工務店 谷 口 つ ま え 湖 山 地 区 壮 年 団	地方紙正月連合企画係 明治安田生命鳥取中央営業所 福 田 眞 (株)安納スウィーツファーム 福 政 容 子 メガガイヤ広島駅前店 田 中 仲 雄 渡 世 唱 子 福 長 ま さ ひ こ 米 谷 食 品 セ ン タ ー (有)カサバクアウテック社 ガイア紙屋町店 宇 佐 美 幸 子 (株)今 井 書 店 無 名 氏

平成26年度 鳥取子ども学園後援会収支決算書

自 平成26年4月1日
至 平成27年3月31日

(収 入)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(△)額	摘 要
後 援 会 費	275,000	285,000	△ 10,000	35件(前年度48件)
貸 付 金 返 済	1,200,000	0	1,200,000	ひだまり
雑 収 入	499	295	204	預金利息
前 期 繰 越 金	1,442,010	1,281,560	160,450	25年度より
合 計	2,917,509	1,566,855	1,350,654	

(支 出)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(△)額	摘 要
本部会計へ寄付	0	0	0	
手 数 料	80,562	48,495	32,067	郵便、クレジット(ネット募金)、残高証明
児 童 支 援	308,460	76,350	232,110	部活支援、高校生学習塾費用支援
貸 付 金	1,200,000	0	1,200,000	ひだまり
雑 費	0	0	0	
合 計	1,589,022	124,845	1,464,177	

収入支出差引残金 ¥1,328,487 - は次年度へ繰越

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取子ども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取子ども学園内
☎(0857)22-4206・21-9551 FAX23-0242

振込口座名義：社会福祉法人鳥取子ども学園 理事長 尾崎倣子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812
鳥取銀行本店 普通 7645611

【お願い】

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発行しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えてのことですので、ご理解いただきますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。